

春季展

富岡鉄斎(1836~1924)は、明治、大正を通じて大きく変革する日本画壇において、独自の画風を展開した文人画家です。その画歴はおよそ70年にわたり、一万点に上るといわれる作品は実に多彩で、文人画の枠をはるかに越えています。

鉄斎と西宮で酒造業を営む北辰馬家の親交は、明治40年、辰馬家初代悦叟73歳、鉄斎72歳の頃より始まり、鉄斎が89歳で亡くなるまで続きます。この頃は鉄斎の長い画歴の中でも最も円熟味を増し、多くの傑作を生み出している時期にあたります。

当館所蔵の辰馬家旧蔵の鉄斎作品は、辰馬家初代悦叟と鉄斎との交遊に基づくものです。

1980年に辰馬家より一括寄贈を受け、以来毎年春に展示公開を行っています。

鉄斎と清酒「白鷹」の醸造元、北辰馬家との親交は、明治40年、初代悦叟73歳、鉄斎72歳の頃より始まります。鉄斎は89歳で亡くなりますが、この間は鉄斎の作画生活が最も充実していた時期と重なり、多くの傑作が生み出されています。

今回特別出品いたします六曲一双屏風「阿倍仲麻呂明州望月図・円通大師呉門隱栖図」は、辰馬家の別邸に約半月滞在して製作したもので、当時79歳の鉄斎が辰馬家の請いに応じて渾身の力を込めて描いた最後の大作です。現在鉄斎作品の中で唯一の重要文化財に指定されています。

この他、大正9年に鉄斎が悦叟の病気見舞いに贈った「漁夫快酔図」等の円相掛軸、また悦叟の訃報に際し、急遽染筆した「観世音菩薩増」など、両者の親交に基づいて蒐集された作品や書翰を通じて、鉄斎と灘の蔵元という観点からもご鑑賞いただけるかと思えます。

両者の関係が単なる画家とパトロンといった次元を超えた、志を同じくする者同士の交流であったことがうかがえます。

主な展示品

- 鉄斎作品 29点 掛軸・屏風・扇子・器玩・書翰
- 目録はこちらから [\[PDF\]](#)



阿倍仲麻呂明州望月図



円通大師呉門隱栖図

開催概要

展覧会名称	春季展
期間	3月29日(土)～5月6日(火・祝) 前期3/29～4/13 後期4/15～5/6 月曜休館 但し5/5(月・祝)開館
開館時間	10:00～16:30(入館は16:00まで)
入館料	一般 200円 学生100円
交通	辰馬考古資料館へは、阪神電車香櫨園駅より徒歩2分 JRさくら夙川駅より徒歩7分 阪急電車夙川駅より徒歩10分

夏季教室展 展示品のうらおもて

図録や概説書でなじみのある考古資料も、博物館で実際に観察できるのは正面からの姿だけというのが大半ではないでしょうか。

今回の展覧では、普段見ることのない、土器の底面や銅鏡の鏡面などを展示いたします。書物の解説文は、見えている部分の観察だけではない成果に拠っていることに触れていただければと存じます。

主な展示品

- 縄文土器(茨城県 椎塚貝塚)
- 変形四獣鏡(宮城県 持田古墳群)
- 和同開珎錢范(山口県 長門鑄銭司跡)
など 45点(予定)



変形方格渦文鏡



和同開珎鑄型

開催概要

展覧会名称 夏季教室展 展示品のうらおもて

期間

平成26年6月7日(土)~8月31日(日)
(開館は午前10時から午後4時30分。入館は午後4時まで。)

入館料	大人200円、大学生100円、高校生以下無料
休館日	月曜日(ただし、7/21は開館し7/22を休館日といたします)
交通	辰馬考古資料館へは、阪神電車香櫨園駅より徒歩2分 JRさくら夙川駅より徒歩7分 阪急電車夙川駅より徒歩10分

秋季展「銅鐸と発見場所と」

館蔵の銅鐸を出品する。神戸市桜ヶ丘銅鐸の出土50周年にちなみ、それぞれの資料の出土時にまつわる情報に焦点をあてる。当館が保管する桜ヶ丘出土当時の資料も特別に出品する。

主な展示品

- 流水文銅鐸(出土地不詳 桜ヶ丘1号同范)
 - 流水文銅鐸(伝 滋賀県 出土)
 - 袈裟襷文銅鐸(滋賀県 大岩山 出土)
 - 袈裟襷文銅鐸(岡山県 猿森 出土)
- など 36点



袈裟襷文銅鐸（けさだすきもんどうたく）



流水文銅鐸（りゅうすいもんどうたく）

開催概要

展覧会名称 秋季展「銅鐸と発見場所と」

期間	平成26年10月4日(土)～11月30日(日) (開館は午前10時から午後4時30分。入館は午後4時まで。)
入館料	大人200円、大学生100円、高校生以下無料 (ただし、11月15日(土)・16日(日)は「関西文化の日」として 無料で見学できます。)
休館日	月曜日(10/13・11/3・11/24は開館し、翌日を休館日といたします)
講座	秋季展会期中、講演会などを開催いたします。
交通	辰馬考古資料館へは、阪神電車香櫨園駅より徒歩2分 JRさくら夙川駅より徒歩7分 阪急電車夙川駅より徒歩10分